

立川市旧清掃工場解体工事 土壌汚染調査結果について(その2)

令和 6 年 6 月末に土壌汚染調査の結果をお知らせしましたが、引き続き実施した地下施設がある部分の土壌汚染調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

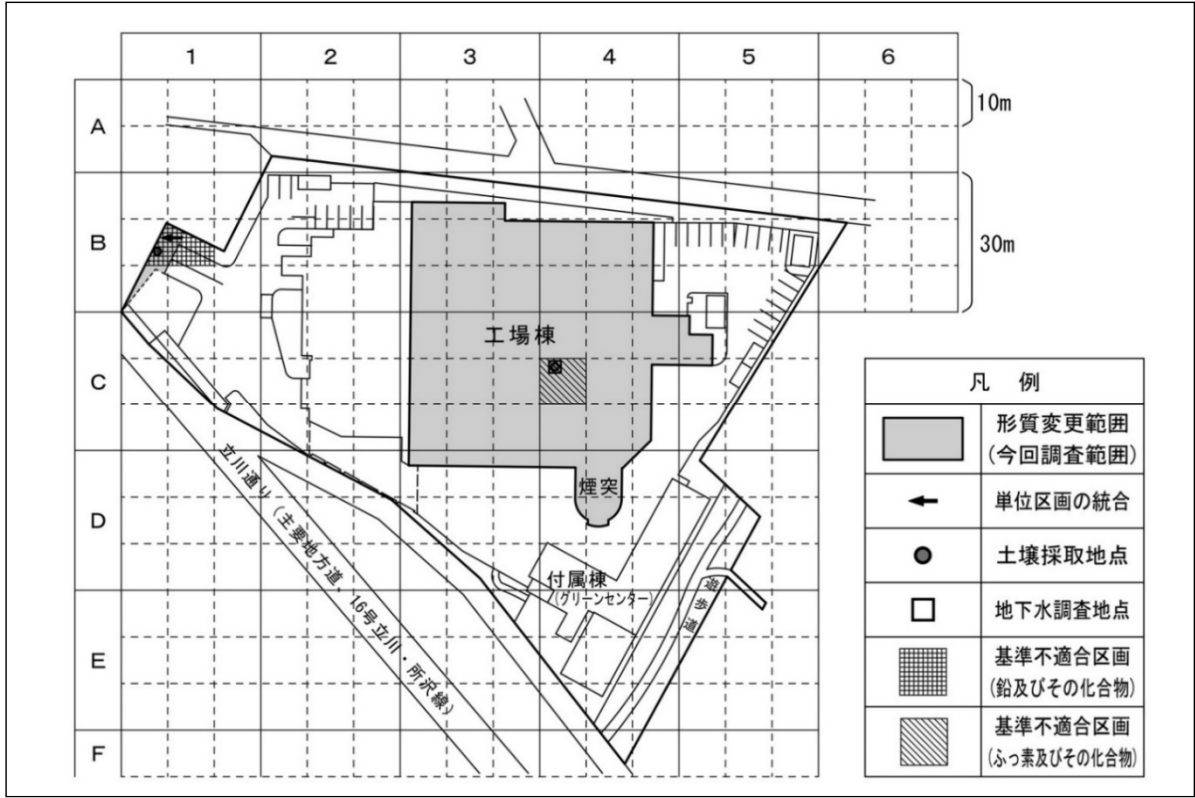
1 土壌汚染調査結果について

解体工事に先立ち実施した調査範囲を除き、地下施設がある部分約 50 か所でサンプルを採取し、分析を行った結果、2区画において土壌含有量や土壌溶出量に基準超過が認められました。

先の調査結果と同様に当該結果を東京都多摩環境事務所へ報告済みであり、掘削等土地の変更時までにはリスク管理を継続いたします。

また、当該結果も地下水から特定有害物質の基準超過は認められないため、近隣への影響はありません。
なお、汚染土壌については、順次置換を行ってまいります。

(1) 調査地点



(2) 調査結果

土壌汚染物質	基準値※		検出値(最大値)
鉛及び その化合物	含有量	150mg/kg	550 mg/kg(基準値の約 3.7 倍)
			深度:表層 -1.0m
ふっ素及び その化合物	溶出量	0.8mg/l	1.1mg/l(基準値の約 1.4 倍)
			深度:建物下 -0.5m

※鉛の土壌含有量基準は、土壌汚染が存在する土地に生涯(70 年間)居住し、1日に 100mg(子ども:6歳以下は 1 日に 200 mg)の土壌を口にしながらも、健康に影響を及ぼさないように定められた基準です。

※ふっ素の土壌溶出量基準は、生涯(70 年間)1日2lの地下水等を飲み続けても、健康に影響を及ぼさないように定められた基準です。